

IND-3003-2007

ボンノックAX

合成系長寿命型工業用ギヤ油

各種産業機械の高性能化や自動化などが進む中で、歯車は高い生産性を維持するための主要機械要素として大きな役割を果たしています。ボンノックAXは化学的に合成された炭化水素を基油として用いているため高温、高速の厳しい環境下でも使用可能な合成系工業用ギヤ油です。さらに粘度指数が高いため、広い温度範囲での使用が可能であり、一般の鉱油系ギヤ油に比較して優れた潤滑性、熱酸化安定性を有している工業用ギヤ油です。

●特長

ボンノックAXはスパー・ベベル・ヘリカル・ダブルヘリカル・ウォーム・ラック・ピニオンなど、あらゆる種類の歯車にご使用いただけます。

1. 酸化安定性・熱安定性が優れている

ボンノックAXは基油に合成系炭化水素（ポリ- α -オレフィン）を使用しているため、一般の鉱油系工業用ギヤ油に比べ優れた熱・酸化安定性を有しています。また、厳選された硫黄-リン系添加剤を配合しているため、スラッジの生成が少なく長期間の使用にも耐えられます。

2. 歯車の寿命を延ばします

ボンノックAXは優れた添加剤の働きにより、歯面に強じんな潤滑油膜を形成します。したがって大きな荷重や衝撃に十分に耐え、摩耗や焼付きを防止します。歯車寿命の延長はメンテナンスコストの低減に役立ちます。

3. さびや腐食を防ぎます

ボンノックAXは優れたさび止め剤や腐食防止剤の働きにより、歯車装置はもとより油循環システムをさびや腐食から守ります。

4. シール材との適合性が良い

ボンノックAXのシール材との適合性は鉱油系ギヤ油とほぼ同等です。

5. その他の性能

ボンノックAXは水分離性、あわ消し性などにも優れており、オイルの管理が極めて容易です。

●種類

ボンノックAXは、使用条件に応じた選択ができるようにISO. VG68から680までの7種類の粘度グレードを用意しています。

●用途

各種鉄鋼機械をはじめ鍛造、製紙、建設、鉱山、化学、荷役機械など一般産業用機械の密閉歯車の潤滑用。

●荷姿

200lドラム、20lペール缶

●ボンノックAXの代表性状

種 類	68	100	150	220	320	460	680
色 (ASTM)	L0.5	L0.5	L0.5	L0.5	L0.5	L0.5	L0.5
密 度 (15°C) g/cm ³	0.851	0.853	0.854	0.855	0.855	0.856	0.857
動 粘 度 (40°C) mm ² /s	70.6	97.6	150	229	318	435	690
(100°C) mm ² /s	10.9	13.8	19.3	26.5	37.5	48.9	71.3
粘度指数	144	144	146	148	168	173	181
引 火 点 (COC) °C	264	264	264	268	274	284	280
流 動 点 °C	-45以下	-45以下	-45以下	-45以下	-45.0	-42.5	-42.5
酸 価 mgKOH/g	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
銅板腐食 (100°C, 3h)	1	1	1	1	1	1	1
チムケン合格荷重 kg	25	25	27	27	27	30	30
消防法危険物分類	第4類 第4石油類 危険等級Ⅲ						

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変更場合があります。(2002年6月)



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

成分：	潤滑油基油、潤滑油添加剤
絵表示：	なし
注意喚起語：	なし
危険有害性情報：	なし
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none"> • 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 • 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 • 眼に入れないこと。飲み込まないこと。 • 取り扱い後はよく手を洗うこと。 • この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none"> • 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 • 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 • 眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。 • 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
保管	<ul style="list-style-type: none"> • 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。 • 一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。
廃棄	<ul style="list-style-type: none"> • 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。 • 不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。